

Victory

NO.5

令和6年8月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

処暑（8月22日ごろ）を過ぎ、数日前から朝夕の空気が変化したことを感じます。蝉の声も晩夏を感じさせるツクツクボウシに替わり、また虫の声もチロリコと聞こえ始めました。

翻弄される今夏の暑さに辟易しつつも、この暑さを端的に表す言葉は「猛暑」、「酷暑」の他にないものか？と思立ち、『ことば選び実用辞典』（学研プラス）を引いてみると「炎暑（夏の燃えるような暑さ）」、「激暑（きびしい暑さ）」（これは酷暑も語義は同じでした）が見つかりました。暑さが、新たな言葉を導いてくれました。

気持ちや思いを言葉にできるのは、生物界でも唯一人間だけ（今は、動物言語学分野で新たな見解が見られる研究も進められているので一概には言えませんが）です。人工知能はビッグデータから多くを学習し、言語を習得していきますが、そこに感情というものは宿っていません。なぜなら五感を持っていないから。どれだけ膨大なデータの蓄積があっても、感じることを知らない人工知能に人間を超えることはできないだろうと思います。だからこそ、彼ら（人工知能）を上手に活用することが私たち人間に与えられた役割なのではないでしょうか。そのための、スキルを私たちは身につける必要があります。

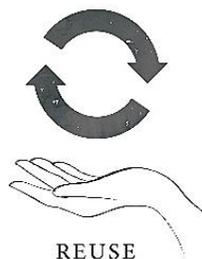
そして、いつも好奇心を持ち続けたいと思います。



朝陽祭古本市のお知らせ

毎年恒例、図書委員会主催の古本市。

みなさんの家庭で眠っている本が、新たな出会いと読書の輪を広げるのに一役買っています。委員会では、まだまだ提供してくれる本を受付中です。クラスの図書委員に渡して下さい。



*5冊提供ごとに「1冊交換券」を配布
(朝陽祭前日に該当者に渡します)

*200円以上購入した人はくじがひけます。
ワクワクする景品準備してます！

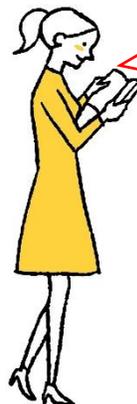
開催日時：9月6日（金）

開催時間：午前9時30分

開催場所：図書館閲覧室



*当日は、たくさんの参加をお待ちしています。



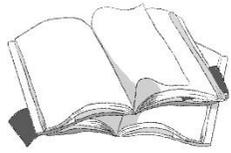
新着資料紹介 No.3 は
こちらから。

6月から8月の間に入った本の紹介一覧です。こちらのQRコードから、どんな本が入ったか確認できます。

6月末に実施した図書委員による店頭購入の本も入っています。



長期貸出図書の返却は、すませましたか？



授業で図書館を使う

図書館は、利用者のニーズにあわせたフレキシブルな支援をする役割があります。ここでは、授業での活用シーンにフォーカスし、7月末の公共の授業と2学期初日に実施した中2感性の授業を紹介します。

高2公共 (3クラス) 宮日データベースを活用しよう

宮崎日日新聞社デジタル推進局データベース部の巢山貴行氏(本校OB)を講師に、新聞記事がどのようにして発信されるのかを足がかりに、記事検索についてレクチャーして頂き、実際にデータベースでの検索を体験しました。

新聞データベースのメリットは、過去の記事(2000年以降)も検索できること、関連記事が時系列にヒットするので必要に応じて自分のドライブ等に保存し活用することができます。

社会の動向、時事問題に意識を向けるきっかけにしてほしいと思います。また、自分の進路に関連する記事をストックすることもお勧めします。図書館では、8アクセス用意しているのでいつでも活用しましょう。

中2感性 (2クラス) 読書を楽しむ(POP作り)

3時間かけて、一人ひとりの推し本のPOPを作成します。活動の事前指導として、POPの歴史・役割・具体的な作成ポイント等をレクチャーしました。

もともと1930年代に欧米で生まれた広告で、「Point of purchase」の頭文字を取った略語になります。スーパーマーケットスタイルによる大量生産、大量消費から消費者への効率よい購買意欲をかき立てるために考えだされました。それが1950年代日本にも広まり、現在に至っています。

大切なのは、その対象物について熟知していることです。今回は読書のPOP作成なので、本をしっかり読み込むことが肝要です。

80通りの渾身のPOPカードが生まれるのが、今から楽しみです。

棚からひとつかみ『古典に学ぶ』



『古典を読んだら、悩みが消えた。』安田登著 (大和書房 2022)

副タイトル「世の中になじめない人に送るあたらしい古典案内」。何々、気になるではないか！これまで私たちは、国語あるいは歴史を通して古典文学に触れている。本書で取り上げられるのは古事記・和歌・平家物語・能・おくのほそ道・論語である。著者は、これらの古典を通して「いつも貧乏くじをひいている」と思うあなたへ、一筋の光を導き出す。「そうか、こんなふうに捉えればいいんだ」と読むごとにあなたの闇濃度を薄めてくれる、これは古典的心の処方箋とでも言おうか。著者は、能楽師でもある。



扉を開こう、新たな世界が君を待っている

第10回宮崎県高校生ビブリオバトル大会校内予選を実施します。今回みなさんにお知らせするのは、オーディエンス(聴衆)としての参加呼びかけになります。

*予選日時：9月13日(金)午後4時～4時30分

*予選会場：本校図書館閲覧室

*予選流れ：1人につき5分間トーク、3分間ディスカッションタイム
全部の本の紹介終了後、チャンプ本を決定(今回は2名)

チャンプ本に選ばれたバトラーは、10月12日(土)宮崎県立図書館で行われる県大会に出場することになります。

みなさんの耳で、目で、心で西高からの代表を選んでください。